



おかむら通信 143号

平成 29 年 3 月号

こんにちは、みなさま お体にお変わりはありませんか？
どうか今月も、乗り切っていきましょう。

今月の言葉

もし貧しい人々が飢え死にするとしたら、それは神がその人たちを
愛していないからではなく、あなたが、そして私と与えなかったからです。

マザーテレサ

① 術後で悩まれている方々へ ;どんな方でも、われわれが、対処する努力をします。
化学療法をしながら、病気と闘っている方。手術の傷が治りきっていない方。そん
なにしょっちゅう病院へ通えない方。ご自分の疾病に悩まれている方。一時的に食
事がとれなくなった方。術後の合併症に困っている方。、、、

② 時々少量または微量の薬を使う理由:薬局での説明と違うことがあります。ご留意
ください。

③ 最近、たしかに膵がんの病気が目立ちます。画像診断が進歩したのか、実際にこ
の病気が増えたのか、ドクターたちがみつけるのか？

質問コーナー



1 DSWDってなんですか？ フィリピン、セブにある 障害者のための職業復帰訓練、
精神面の管理、疾病の管理、こころのサポートを支援者たちと行うところです。

2 院長が、以前、医療のIT化を叫んでいた理由はなんですか？

患者情報をすべての医療者が共有し、どの医療機関でも、的確な医療が提供できる、
したい、とするシステムです。当院では、いつでも他医療機関がOKなら、つなぐことが
できるPACSシステムを備えています。

3 今、何人に、神経ブロックをしていますか？ 何に対してしていますか？

定期的に毎日、3.4人 星状神経節ブロック、腰椎・胸椎硬膜外神経ブロックを主として
行っています、突発性難聴・胸部、腹部下肢などの帯状疱疹ヘルペス、難治性ヘルペ
ス後神経痛、坐骨神経痛、顔面神経麻痺、等に対してです。





4 院長の専門は何ですか？ 玄関には「岡村胃腸科外科」とかいてありますが？

総合診療です。そして一般外科、麻酔科、呼吸器疾患診断、内臓疾患、いたみの治療、心血管系、と続きます。

5 プランニングって何ですか？：院長が行う毎日の患者さんのカルテの見直し、今後の方針、あたらしい治療法の検索、などを常時探っています。

6 病気を治すコツは？：一緒に、戦うことです、お互い信じあいながら。余計な情報に振り回されないことです。余計な情報はどこからでもやってきます。

7 先生が良く言っている、「センサーを持ちましょう」とはどんなことですか？ よくスタッフに言っていますね。：いつも相手の方をみている、そして自分の全身で何かを感じる、心のドアをオープンにしておく、誰でもできることかも知れません。そこから、診療が始まるのです。

8 ストリートチルドレンって？ 医療とどう関係があるんですか？：道端にほうられた子供たちです、世界各国にいます。貧困、家庭環境、虐待、犯罪組織、のあおりをもらって、たいへんな状況にあります。多くは家庭に様々な問題があるのです、訪問したセブでは、その家族にまで手を差し伸べようと、こころ暖かい人々がだれかしら毎日のように活動をしているのです。それでも、この状況は減りません。



9 64列CTって、他のとはどう違いがあるのですか？：決定的な違いは、被ばく量です、当院のものはかなり軽減されています。検査スピードが信じられないほど早く、3次元画像を作れます、とくに血管系、外傷にも有力です。

毎日少しずつ暖かくなり、お天気の良い日はポカポカと春を感じられる様になりましたね。

3月は卒業式や新生活の準備など忙しい時期です。風邪や花粉症などで体調をくずさないよう気をつけて下さい♪

担当 石原

